製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ～す
https://japan.otakaranews.com

じゃぱんお宝にゅ～す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

igus®
plastics for longer life®

樹脂製自転車国内初展示

プラスチック製自転車「igus:bike」国内初展示 90%以上がプラスチック製の都市型自転車 11月8日(火)から開幕するJIMTOF2022に登場

日本初公開「igus:bike」

イグス株式会社は、11月8日(火)～13日(日) 東京ビックサイトで開催されるJIMTOF2022(第31回日本国際工作機械見本市)に、今年 5月に発表したプラスチック製自転車「igus:bike」を国内初展示する。

mtrl社との共同開発 メンテナンスフリー

igus:bikeは、“海洋プラスチックからモーション・プラスチックへ”という目標のもと作られた、90%以上がプラスチック製の都市型自転車。オランダのスタートアップ企業であるmtrl(マテリアル)社とイグスが共同で、今年5月に開催されたドイツ・ハノーバーメッセにおいて製品発表し、大反響となった。

igus:bikeは可動部に、イグスのモーション・プラスチック(無潤滑樹脂製部品)を用いることで、従来は金属でしか実現できなかったフリーホイールやギアボックスなど負荷のかかる可動部品のプラスチック化を実現した。これにより、可動部品が錆びることなくメンテナンスフリーで使用することができる。

将来的には、廃棄プラスチックのリサイクル素材で製造されたバージョンも販売する予定であるほか、使えなくなったigus:bikeを回収して、その素材を使用して新たなigus:bikeを製造することも計画している。

「igus:bike」誕生の経緯

igus:bike誕生の始まりは、休暇先のレンタルバイクショップから始まった。

igus:bikeプロジェクトは、フランク・ブラーゼ氏(イグス・ドイツCEO)が数年前に休暇で訪れたフロリダのビーチにあるレンタルバイクショップでの会話から始まった。

「自転車が海の潮風や砂で錆びてしまい、短期間でメンテナンスや買い替えをしなくてはならず困っている」という話を耳にしたブラーゼ氏が、イグスのモーション・プラスチック技術を使ってプラスチック製の自転車を作れないか、と考えプロジェクトがスタートした。

将来は世界中で生産 予知保全も可能に

現在、ドイツでは2023年中にigus:bikeの発売開始を目指し準備を進めている。

販売元はmtrl社だが、将来的には世界中に製造拠点を設け、現地で出た海洋プラスチック廃棄物をリサイクルし、現地で自転車を製造する構想も検討している。

さらに、イグスのスマートプラスチック(予知保全)技術を使用して、自転車部品の寿命をスマートフォンなどで確認できるようなシステムも開発中で、価格は€1,200から。

近年、日本でも健康増進を目的に、自転車(ロードバイク)を愛用する人々が増加している。一方で、自転車も様々な素材を用いた製品が開発され、中には新素材を採用した高級志向の自転車に拘る愛好も増えている。90%以上がプラスチック製のigus:bikeは、従来の自転車に対する一般的な概念を変える期待の商品として日本でも今後の動向が注目を浴びそうだ。

■JIMTOF2022(第31回日本国際工作機械見本市)開催概要
◆会期：2022年11月8日(火)～11月13日(日)
◆開催時間：9：00～17：00 ※最終日16：00まで。
◆会場：東京ビッグサイト
◆イグスブース番号：E3010(東3ホール)。(※資料提供：イグス)

■igus:bikeに関する詳細→ https://igus.bike/en(英語サイト)
■イグスURL→ https://www.igus.co.jp/